

証券コード:7472

“百年の信頼を未来につなげる”

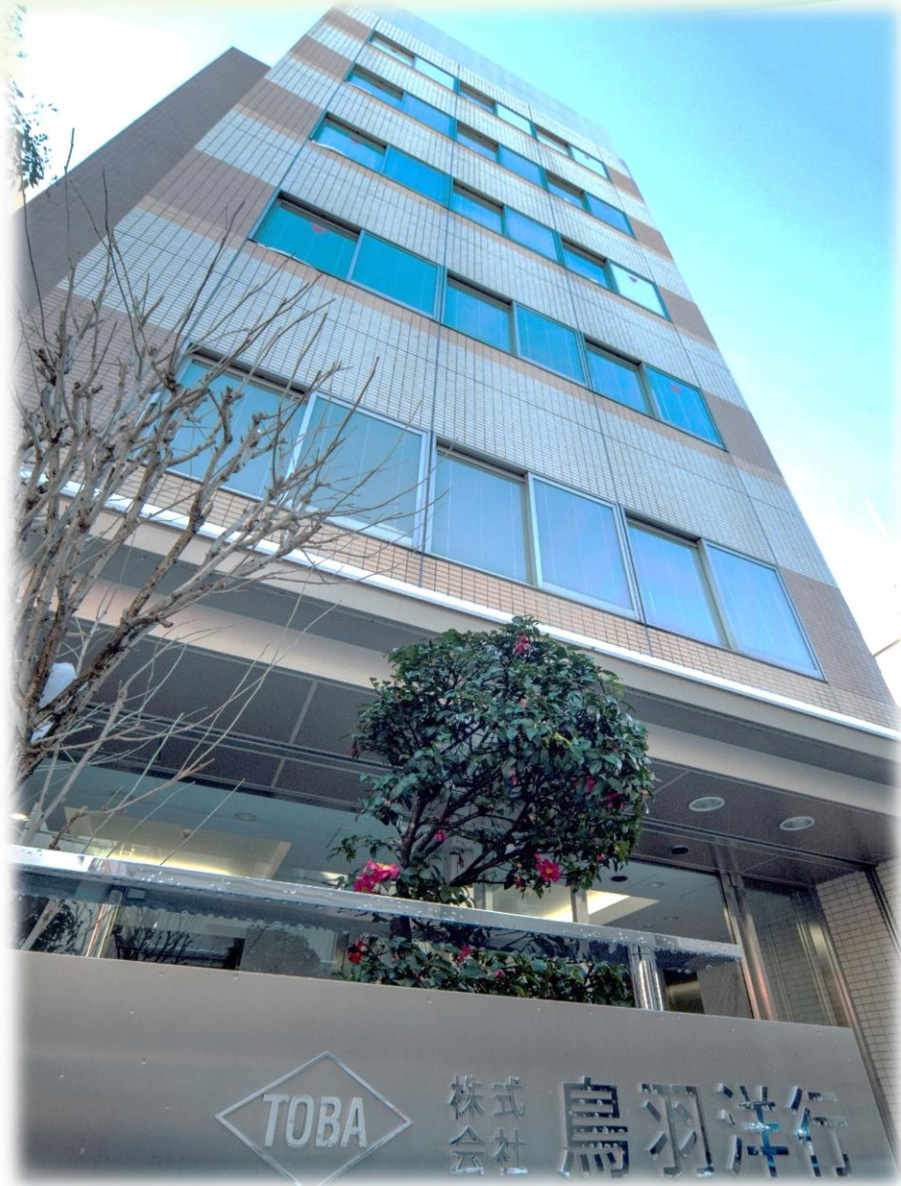
会社説明会

2026年8月19日（水）
株式会社鳥羽洋行

鳥羽洋行が皆様へお伝えしたい事



株式会社 鳥羽洋行



東京都文京区 本社ビル 外観

- ◆ 鳥羽洋行を知る
- ◆ 業績について
- ◆ 今後の戦略について
- ◆ 積極的な株主還元



株式
会社

鳥羽洋行

◆鳥羽洋行を知る

鳥羽洋行を知る ～会社概要～

株式会社鳥羽洋行(TOBA,INC.)

- 上場市場:東京証券取引所スタンダード(証券コード 7472)
- 所在地:東京都文京区水道二丁目8番6号
- 資本金:11億4,800万円
- 従業員数:【連結】301人 【単体】265人 ※2026年6月末日現在。従業員数は、嘱託・派遣社員を含む。
- ISO14001:2007年2月に本社および全営業所で認証取得
- ISO9001:2019年7月に本社および全営業所で認証取得



鳥羽洋行は2026年9月に創業120周年を迎えます。

1906年(明治39年) 9月

創業(中国大連市)



創業者:鳥羽真作 および 大連時代の本社



1949年(昭和24年) 12月

設立(東京都中央区銀座)



旧本社(銀座)



二代目社長:鳥羽実

1995年(平成7年) 11月

株式店頭公開
(のちのJASDAQ)



現在の本社(文京区)

2022年(令和4年) 4月

市場再編により
スタンダード市場へ



120th
ANNIVERSARY

企業理念

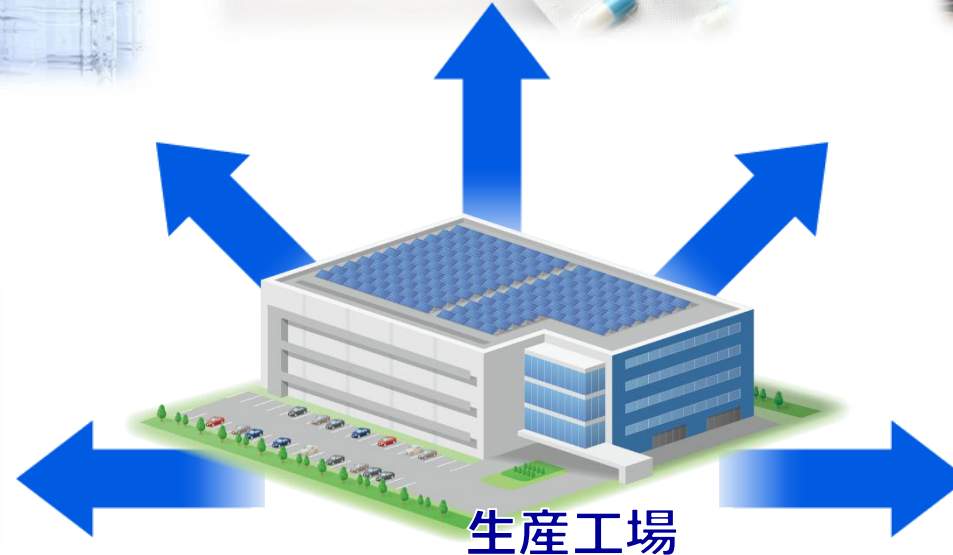
百年の信頼を未来につなげるため、「**信用第一主義**」を貫き、
産業の発展と地球環境に貢献する企業を目指します。

社 是

1. 当社は社会人類に貢献するためにある。
2. 当社は社員の向上と幸福を計るためにある。
3. 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する。
4. 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する。
5. 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、
能率的に経営し、信用を第一におく。

鳥羽洋行を知る ～生産設備の専門商社～

私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが工場で作られています。



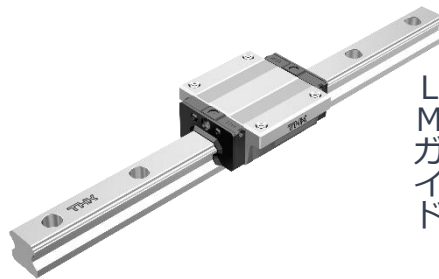
鳥羽洋行は、あらゆる生産設備に関する商材を取り扱う
「メカトロニクスの専門商社」です。

鳥羽洋行を知る ～主な取扱商品分類～

制御機器



エアシリンダ・バルブ
(空気圧機器)



LMガイド

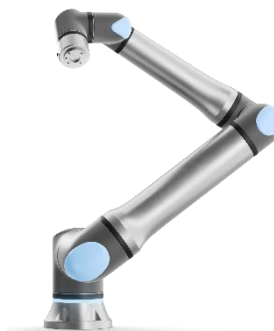


チラー
(温調機器)



各種センサ

FA機器



協働ロボット



産業用ロボット
(大型・小型)



マウンター
(半導体・電子部品)



自律走行搬送ロボット
(AMR)

産業機器



ろ過フィルター
(半導体)



電気チェーンブロック
(揚重機)



電動ドライバー
(組立て工具)



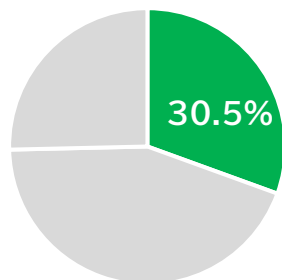
ベルトコンベア
(搬送)

鳥羽洋行を知る ～商品部門別実績・2027年3月期1Q～

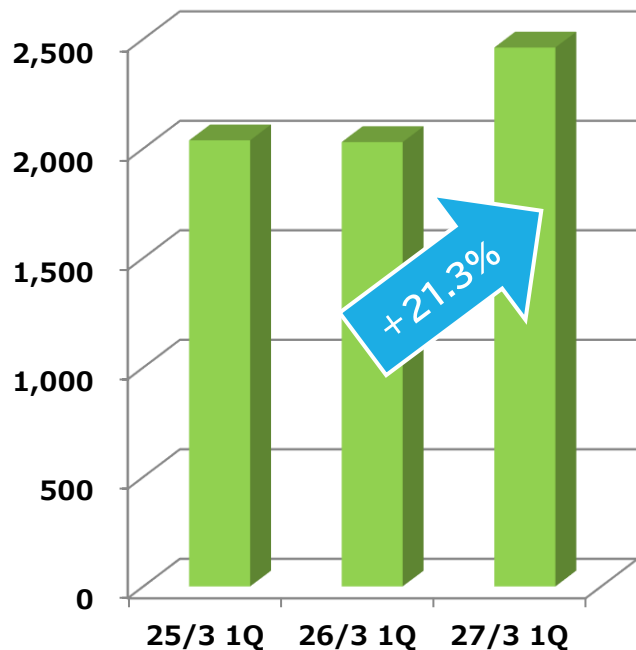
制御機器

連結売上高

24億61百万円



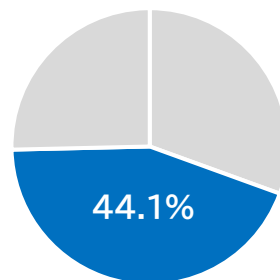
(百万円)



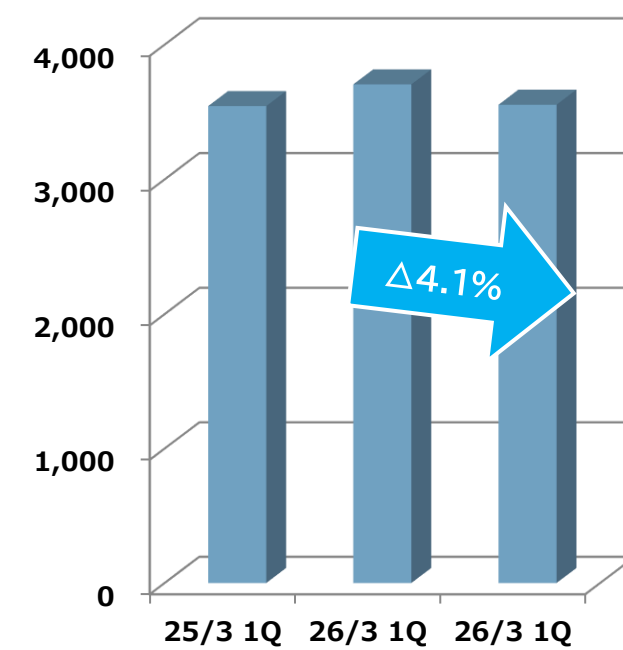
FA機器

連結売上高

35億54百万円



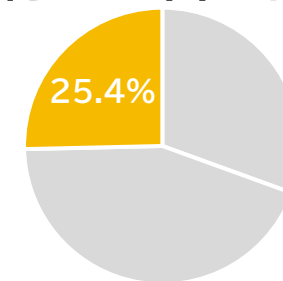
(百万円)



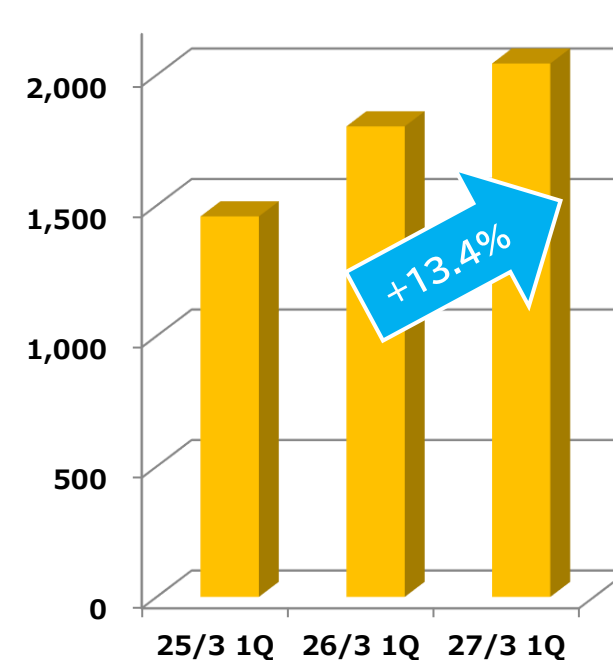
産業機器

連結売上高

20億44百万円



(百万円)



鳥羽洋行を知る ～注目商品『協働ロボット』～

協働ロボットとは、本体に安全センサーを組み込むなど、**人に対する安全性を確保**できるようになったロボットです。安全柵等の特別な対策を講じる必要が少なく、**作業者のすぐ近くで使用できる**ことから、導入の幅が広がっております。

ユニバーサルロボット
URロボット



カワダロボティクス(株)
NAXTAGE Fillie

(株)不二越
ぶつからない協働ロボット「MZS05」



(株)デンソーウェーブ
COBOTTA PRO



ヤマハ発動機(株)
YCO1300



◆ 食品工場(冷凍ハンバーグ)の自動化(イメージ)

手作業による食品工場のイメージ



ロボットによる冷凍ハンバーグの仕分け・スタッキング自動化（デモ映像）

▶ ロボット導入のメリット

- ・労働力不足の解消 ・場所や時間を選ばず、生産能力を向上(24時間稼働)
- ・精密な単純作業や力仕事を代行 ・金属探知など機械が得意な能力を導入

鳥羽洋行を知る ～販売体制（直販体制）～



株式会社 鳥羽洋行

当社は、お客様(ユーザー)へ直接販売を行う「直販体制」を構築しております。



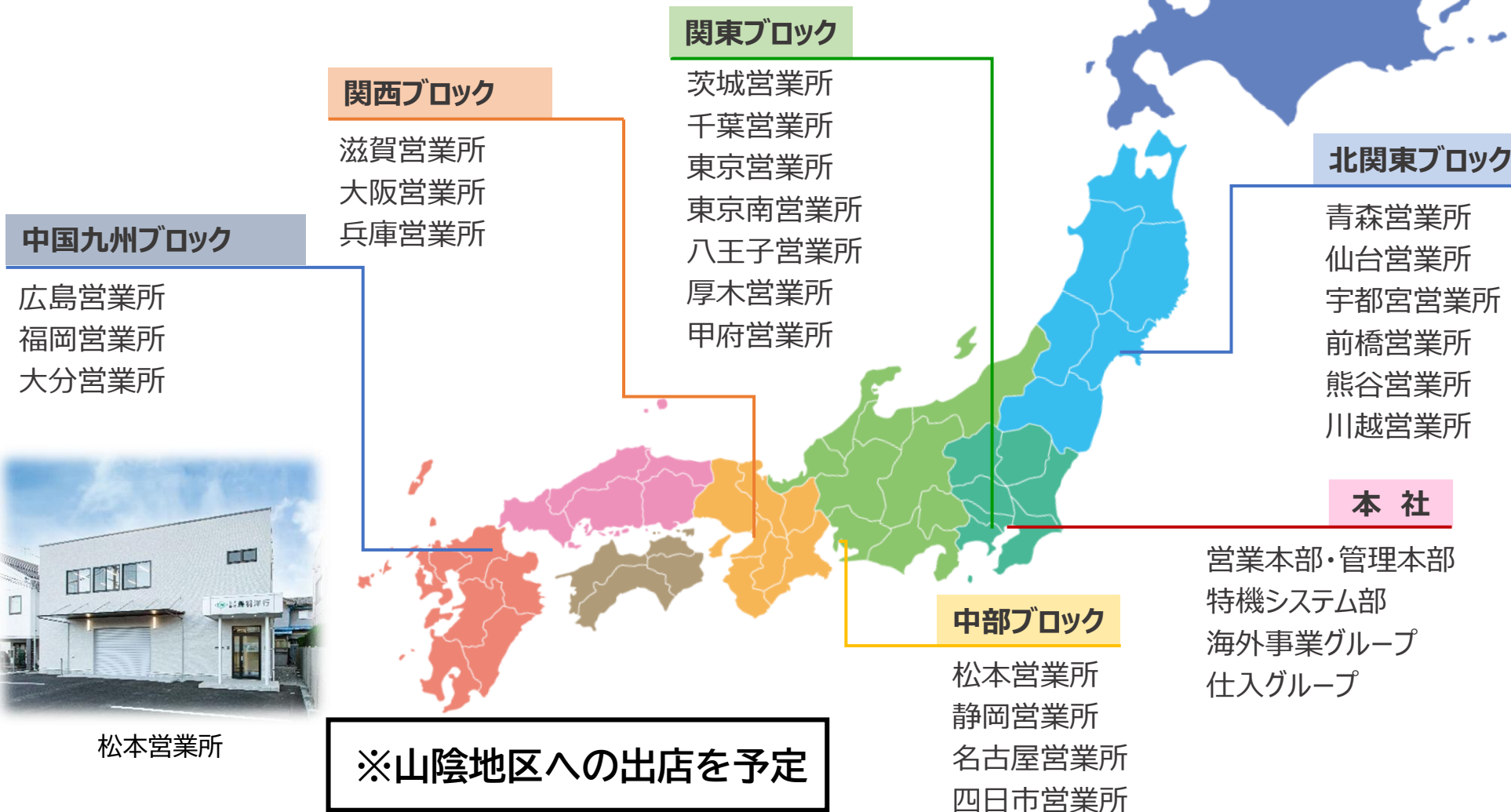
「直販体制」のメリット

- ・ お客様の情報をダイレクトかつタイムリーに収集できる
- ・ お客様の要求に対して最適な提案とスムーズな交渉ができる
- ・ 販売店を介さないため短納期で商品を提供できる

鳥羽洋行を知る ～国内販売ネットワーク～

国内23ヶ所の営業拠点

全国各地に拠点を設置し、徹底したサポート体制を実現



2026年5月11日より
移転し営業開始



茨城営業所



四日市営業所

松本営業所

海外 3カ国、5カ所の営業拠点を配置

中国

鳥羽(上海)貿易有限公司 (2008年)
(同公司)深圳分公司 (2011年)
(同公司)蘇州分公司 (2014年)

ベトナム

TOBA,INC.(VIETNAM)CO.,LTD
(2020年)

所在地:ハノイ

タイ

TOBA (THAILAND)CO.,LTD.
(2012年)

所在地:バンコク

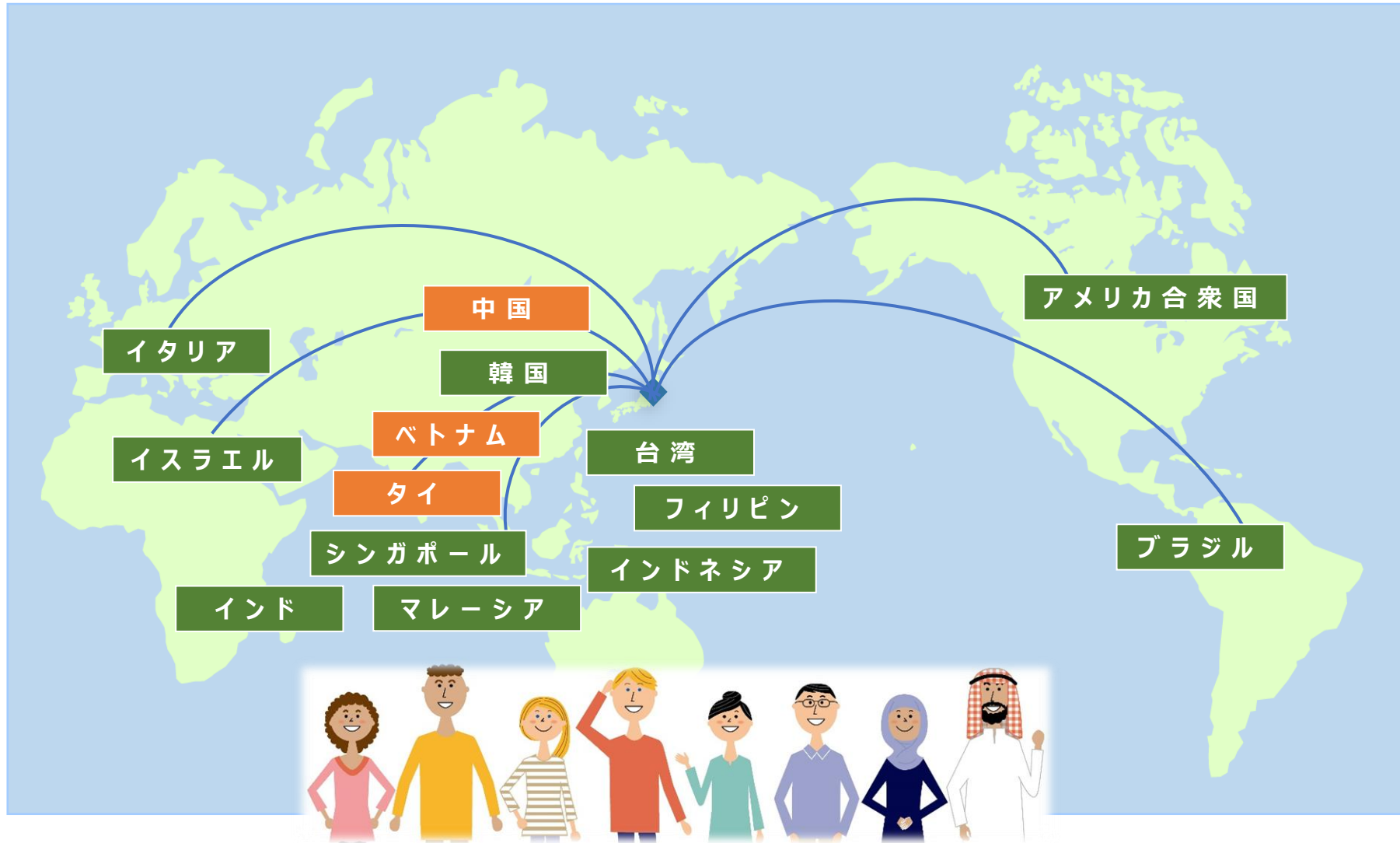


鳥羽洋行を知る ～海外販売ネットワーク②～



株式会社 鳥羽洋行

「海外事業グループ」を通じて国内から全世界へ商材を販売しております。





株式
会社

鳥羽洋行

◆業績について

業績について ～2027年3月期第1四半期決算①～



株式会社 鳥羽洋行

<連結損益計算書の概要>

(単位：百万円)

	26/3月期 1 Q	27/3月期 1 Q	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	7,539	8,060	6.9%	国内売上が、前年を上回る
営 業 利 益	416	462	11.0%	売上総利益が、前年比7.4%増 売上総利益率が、0.1ポイント改善
営 業 利 益 率	5.5%	5.7%		
経 常 利 益	452	505	11.7%	
経 常 利 益 率	6.0%	6.3%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	319	348	9.1%	
四半期純利益率	4.2%	4.3%		

業績について ～2027年3月期第1四半期決算②～



株式会社 鳥羽洋行

<連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	26/3月末	構成比 (%)	26/6月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	20,884	71.5	20,630	70.0	
現金・預金	12,448	42.6	13,533	45.9	
受取手形・売掛金 ・電子記録債権	7,710	26.4	6,520	22.1	
商品	552	1.9	454	1.5	
固定資産	8,319	28.5	8,830	30.0	
資産合計	29,204	100.0	29,460	100.0	
流動負債	6,773	23.2	6,675	22.7	
支払手形・買掛金 ・電子記録債務	6,149	21.1	6,061	20.6	
固定負債	624	2.1	807	2.7	
負債合計	7,398	25.3	7,482	25.4	
純資産合計	21,806	74.7	21,978	74.6	
負債純資産合計	29,204	100.0	29,460	100.0	

業績について ～今期 連結業績予想～

(単位：百万円)

	2 6 / 3 月期 (実績)	2 7 / 3 月期 (予想)	前期比 (増減率)
売 上 高	29,061	32,000	10.1%
営 業 利 益	1,494	1,730	15.8%
営 業 利 益 率	5.1%	5.4%	
経 常 利 益	1,612	1,845	14.4%
経 常 利 益 率	5.5%	5.8%	
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1,107	1,240	12.0%
当 期 純 利 益 率	3.8%	3.9%	



株式
会社

鳥羽洋行

◆ 今後の戦略について

当社グループを取り巻く市場環境

◆ 半導体関連

生成AIの普及を背景としたデータセンター等への設備投資が旺盛に推移し、総じて高性能半導体に係る設備投資は前期後半より好調に推移。一方、自動車向けパワー半導体については、昨年から自動車関連設備投資が減速傾向で横ばい見込み。

◆ 自動車・車載部品業界

自動車の生産台数は、昨年よりトランプ関税の影響を受け低迷。EV(電気自動車)向けの設備投資は鈍化傾向にあるが、HV(ハイブリット車)に関連する需要は継続して好調に推移する見込み。

◆ 自動化システム

生産現場における労働力不足を補う自動化システム案件は継続的に増加傾向にあり、ロボットやFA機器の販売は底堅く推移する見込み。

◆ 環境負荷低減商材

カーボンニュートラルに向けた取組みが拡大する中で、CO2排出量削減効果の高い商材の発掘、拡販により他社との差別化と企業価値の向上を目指す。
ペロブスカイト太陽電池等、新たな需要が期待できる。

Next Stage 2029

～ 新たなステージへ ～

経営理念を軸とし、中期経営計画を策定し、事業活動を通じて企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

～第6次中期経営計画 数値目標～

(単位:百万円)

	第78期 (2027年3月期)	第79期 (2028年3月期)	第80期 (2029年3月期)
売上高	32,000	35,000	38,000
営業利益	1,730	2,100	2,350
経常利益	1,845	2,200	2,500
当期純利益	1,240	1,500	1,650



※当社グループは、経営環境の変化等に対応すべく、「ローリング方式」により中期経営計画を毎年度策定することとしております。

今後の戦略について ～事業戦略～

<2027年3月期の戦略 ～5つの柱～>

1. 次世代の柱となるユーザーの新規開拓、育成

- ・積極的な展示会出展と来場者フォローによる新規顧客開拓
- ・自動車・車載部品及び半導体関連顧客への販売強化
- ・M&Aによるシナジーを活かした売上/利益の拡大

2. 新商材発掘(SDGs/環境や人にやさしい商品)

- ・生産性向上と労働負荷を低減できる新たな商材の発掘
- ・カーボンニュートラルに向けたサプライヤーとの連携強化

3. 装置ビジネスの更なる販売強化

- ・労働力不足を補う自動化装置とロボットの販売強化による売上増大

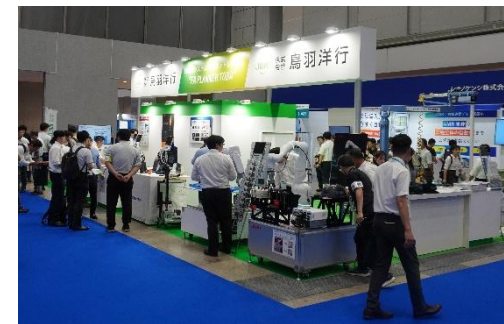
4. 技術商社としての存在価値強化(ブランド強化)

- ・各種専門資格等の取得による提案型営業推進及び営業研修拡充

5. 海外拠点との連携強化

- ・新規海外拠点の検討
- ・海外子会社への人材積極投入

<大型展示会へ出展>
主要都市での大型展示会に積極出展



<ロボット販売拡大>
協働ロボット、搬送ロボット等
小～中型の産業用ロボット販売に注力



<各種自動化装置ビジネス>
生産性向上と労働力不足解消に貢献。
装置売上：50億円を目指す



今後の戦略について ～大型展示会出展～

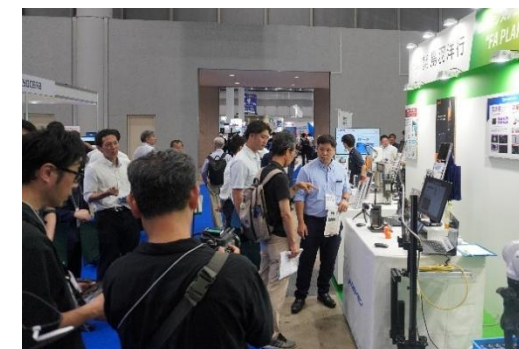
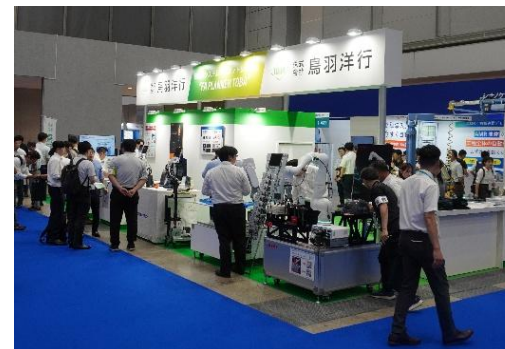
◆2026年度 大型展示会出展実績

●ものづくりワールド 機械要素技術展【名古屋】

会 場:ポートメッセ名古屋

開催日:2026年4月8日～10日

来場者数:2,115名



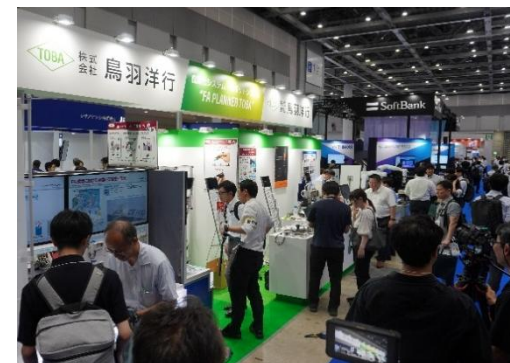
賑わいを見せる 当社ブースの様子
東京ビッグサイト

●第6回 工場の搬送と協働ロボット展

会 場:東京ビッグサイト

開催日:2026年7月15日～17日

来場者数:1,990名



大型展示会の出展により、当社の取扱い商品や事業内容を紹介し、商談を行いました。
ご来場いただいたお客様へのフォロー活動を実施し、今後の取り引き拡大へ努めています。

今後も大型展示会に出展し、売上規模拡大や新規顧客開拓を取り組み、「TOBAブランド」の強化と企業価値の向上を目指します。

今後の戦略について ～プライベート展示会～

当社では、お客様でのミニ展示会・セミナー・キャラバン・工場見学・技術交流会等の開催を積極的に推進しております。

実機を見ていただくことで受注確立/引き合い獲得率が格段にアップします。
この活動を通して、仕入先メーカーとの協力体制も構築しております。



『ロボット革命で人々を幸せに』



2014年
ヒューマノイド



2018年
清掃ロボット



2021年
配膳・運搬ロボット

2022年
物流自動化作業開始





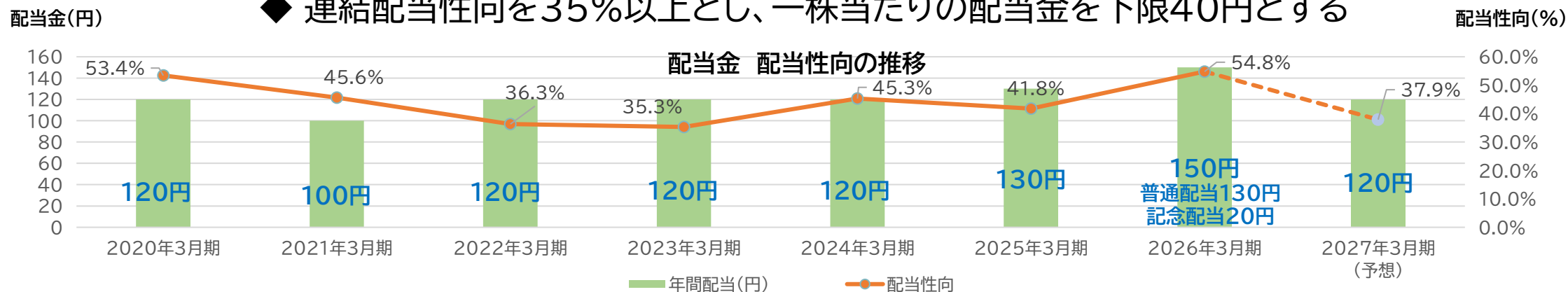
株式
会社

鳥羽洋行

◆積極的な株主還元

積極的な株主還元 ～配当及び自己株取得～

- <株主還元方針> ◆ 配当方針:長期的、安定的な利益還元の実施を目標とする
◆ 連結配当性向を35%以上とし、一株当たりの配当金を下限40円とする



- <自己株式の取得状況> ◆ 自己株式の取得等の間接的な株主還元についても機動的に実施

実施時期	取得株式数	取得単価	取 得 額	発行済み株式総数 に対する割合
2021年11月	70,000株	2,561円	179百万円	1.4%
2022年2月	50,000株	2,780円	139百万円	1.0%
2022年11月	145,000株	2,750円	398百万円	3.1%
2023年5月	33,800株	2,940円	99百万円	0.7%
2023年11月	80,000株	3,115円	249百万円	1.7%
2024年5月	56,000株	3,600円	201百万円	1.1%
2025年8月	45,000株	4,010円	180百万円	0.9%
合 計	479,800株	—	1,447百万円	10.2%

積極的な株主還元 ～株主優待と利回り～

<株主優待について>

- ◆ 株主優待は、「QUOカード」を採用しております。
- ◆ QUOカード購入代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。

※株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。



対象株主	継続保有3年未満	継続保有3年以上
100株以上500株未満	1,000円	2,000円
500株以上1,000株未満	2,000円	4,000円
1,000株以上	3,000円	6,000円

<配当/優待利回りの実績>

◆配当金と株主優待での実質利回り

※利回り算出に使用した値：1株あたり配当額は当期予想の120円、株価は2026年8月18日の終値3,930円

投資株式数	保有年数	投資金額(円)	年間配当額		優待 (クオカード)		配当 + 優待	
			(円)	配当利回り	(円)	優待利回り	(円)	実質利回り
100株	3年未満	393,000	12,000	3.05%	1,000	0.25%	13,000	3.31%
	3年以上				2,000	0.51%	14,000	3.56%
500株	3年未満	1,965,000	60,000	3.05%	2,000	0.10%	62,000	3.16%
	3年以上				4,000	0.20%	64,000	3.26%
1,000株	3年未満	3,930,000	120,000	3.05%	3,000	0.08%	123,000	3.13%
	3年以上				6,000	0.15%	126,000	3.21%

※ 小数点第3位を四捨五入しております。

積極的な株主還元 ～株価・配当予想～



株式会社 鳥羽洋行

終値（8/18） **3,930円**

今期の配当金予想 **120円**

※2026年5月8日発表

予想配当利回り **3.05%**

株式会社鳥羽洋行
証券コード

7472

<https://www.toba.co.jp/>



この資料には、2026年8月18日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではありません。

■ お問い合わせ先

株式会社 鳥羽洋行
管理本部総務グループIR担当

住 所:〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号:03-3944-4031

F A X :03-3944-4091

E メール :kanri-01@toba.co.jp